

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【東雲小学校】

<第5学年：ハートフル東雲>

【子どもの意識の流れと活動の概要】

学習のテーマを決めよう（6月）



- ・4年生の国語「便利ということ」で、ある人にとって便利でも立場を変えると不便なときがあるということを学んだね。様々な立場の人に寄り添って考えることが大切だったね。
- ・東雲のまちが、どんな立場の人にとっても「やさしいまち」になるといいね。

テーマ：「ハートフル東雲～みんなで幸せになろう～」

松山市社会福祉協議会の方の講話、体験活動、調べ学習（7月）

- ・認知症について詳しく分かったよ。まちで出会ったらぼくたちにもできることがあるね。
- ・お年寄りの疑似体験をしたよ。足が動きにくくなるし、視力も落ちてきてとても大変だね。それでも縫い物をしたり料理をしたりしてくれるおばあちゃんたちはすごいな。

調べ学習、愛媛県社会福祉協議会の訪問、ゲストティーチャーの講話（9月～12月）

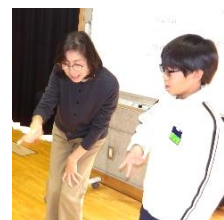
- ・車いす体験をしたよ。少しの段差が登れなくて怖かったよ。
- ・便利な物がたくさん展示してあったよ。様々な立場の人が安心して暮らせるような道具が、どんどん作られていると聞いてうれしかったよ。
- ・目の不自由な方や耳の不自由な方と交流したよ。生活の中での大変さと工夫について教えていただいたね。明るく前向きな生き方がすごいなと思ったよ。



【盲導犬を囲んで】

ぼくたちにできることを考えよう（1月）

- ・学んだことをポスターや新聞にまとめよう。多くの人に伝えたいな。
- ・ぼくたちの普段の行動は「やさしいまち」をつくっているのかな。
- ・一人一人が、様々な立場の人のことを考えて生活することが、「ハートフル東雲」につながるんだね。



【指文字で名前を】

【成果】

子どもたちの思いを大切にしながら単元を構想し、人との関わりを重視した活動を実施したことで、主体的な学びにつながった。また、交流を通して、様々な立場の方の思いや生き方に触れたことで、相手意識を持ち、自分事として学びを深めることができた。

さらに、継続した探究活動を通して、子どもたちは、「やさしいまち」をつくるために、自分たちにもできることがあることに気付いた。今回の学びは、将来、共生社会の担い手として、他者を尊重し、主体的に社会参画していくための大切な土台となるであろう。